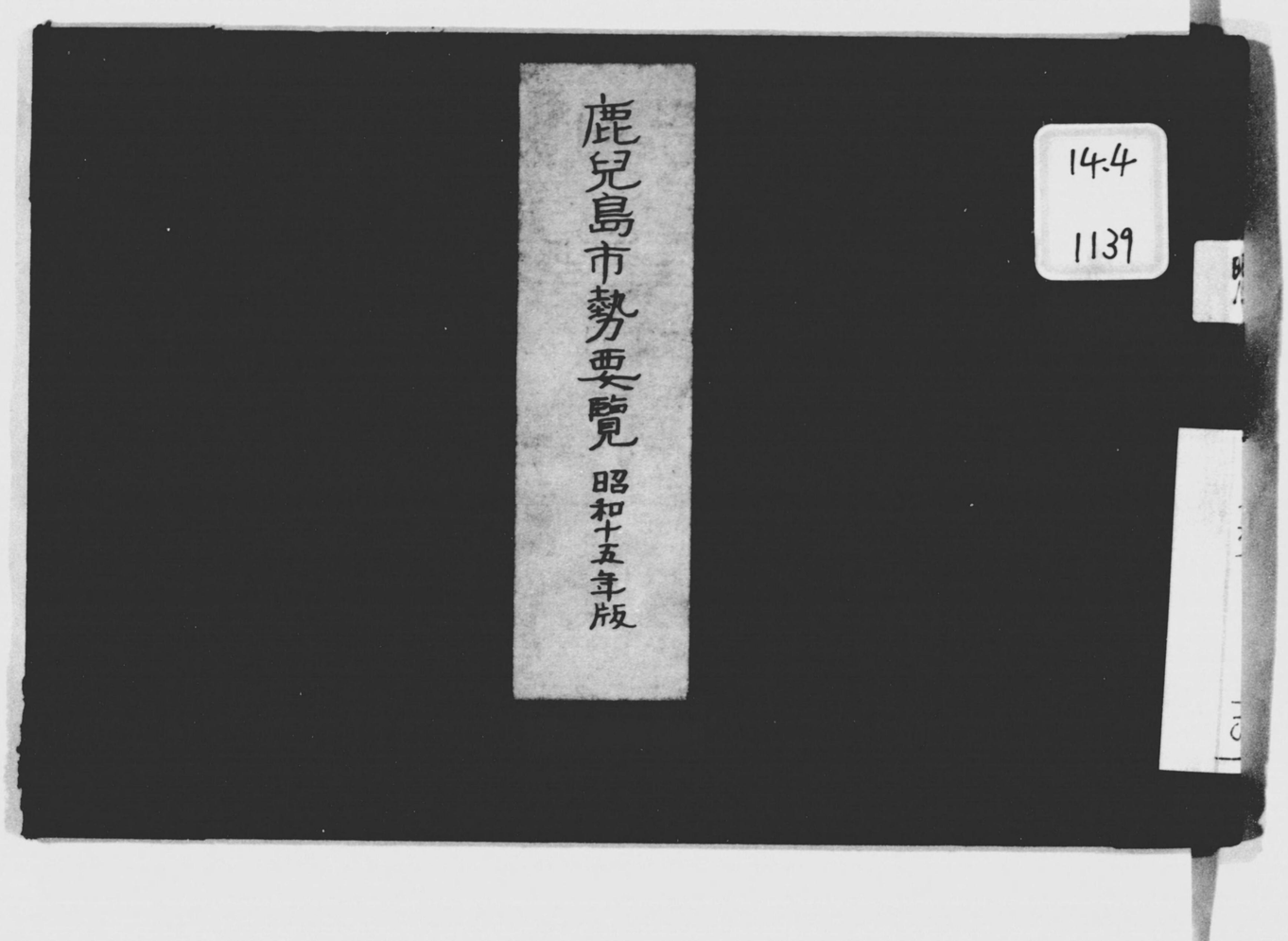



*0032918000*

0032918-000

14．4－1139

# 鹿児島市勢要覧

鹿児島市・編

鹿児島市

昭和１５年版

昭和１６

AFB

# 鹿兒島市勢要覽

昭和十五年版

14.4
113

鹿兒島市廳

鹿兒島市廳は昭和十一年二月十五日着工全十二年六月十五日の竣工にして近世式鐵骨鐵筋コンクリート三階建にして建坪八五〇坪總延坪一、二〇〇坪あり總工費五五二、〇〇〇圓を要し外部タイル張りにして正面中央に高さ九十三尺に達する中央塔屋あり結構壯美なり

鹿兒島縣廳

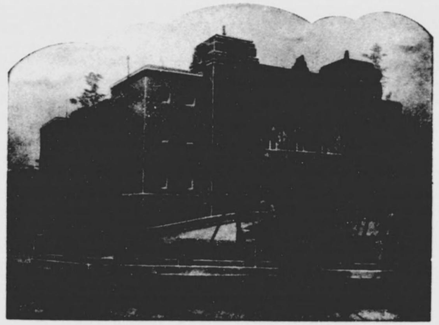
鹿兒島縣の西南約五町山下町にあり廳舍は大正十四年九月の建築に係り近世式三階建鐵筋コンクリート造りにして總工費百拾參萬參千余圓を要し結構宏大なり

## 商工會議所

市内築町にあり
木館は石造花崗
岩張り別館は鐵
筋コンクリート
造にして總建坪
三九七坪餘總工
費十萬餘圓なり

市公會堂は山下町にあり昭和二年十月の建築に係り近世式ビザンチユウム三層建にして内部の設備完全し大集會場は千五百の定席席ありて優に二千人を收容す

## 市公會堂

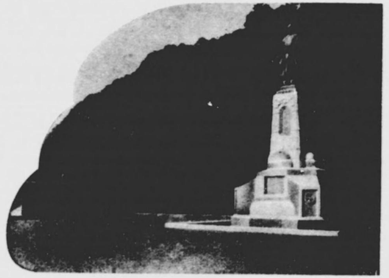


## 照國神社

城山の麓にあり島津齊彬公を祀る別格官幣社にして境内廣く公園の觀を呈す境内に齊彬久光忠義三公の銅像あり

社殿の東側にあり後に城山の線翠を負ひ前方境内廣く市街を距てゝ大隅の連峰及櫻島を望む

## 齊彬公銅像



## 久光公銅像

境内探勝圖の一隅にありて後方城山に接し前に泉水を圍らし附近梅つゝじ等多く四時遊覽の客絶ゆる事なし

## 忠義公銅像

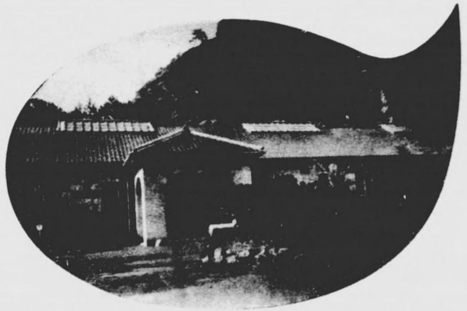
境内廣場の東方にありて前方三百有余年を經たる老松及大鳥居に相對す

## 歴史館

館は藩主島津氏居館鹿兒島城二の丸構内舊市役所跡にあり古代日本建築美の風雅と近代式明朗さを加味せる城院造にして館内には郷土史料と有史前の考古資料を豊富に陳列す

## 磯島津邸

鹿兒島驛より東北に國道を進むこと十五町にして達す後に磯山の翠巒を負ひ前面は近く櫻島の秀麗を仰ぎ薩隅の連峯を一眸の裡に收め風光の雄大なる眞に天下の絶勝なり

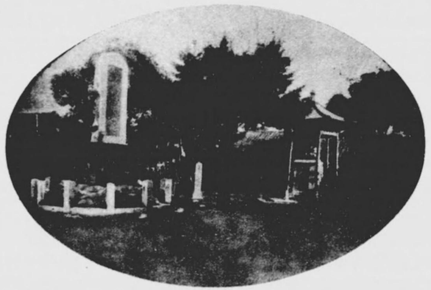


## 尚古集成館

館は島津邸内にあり嘉永元年島津齊彬公の創設したる集成館の跡にして往時は兵器機械類の製造所なりしが現今は舊蹟藏品に關係ある史的資料を陳列して一般の縱覽に供し薩摩文化を語る幾多貴重なる資料を藏す

甲突川畔に近く新屋敷町にあり國内に夫人の銅像を建つ邸境内に夫人の令兄海軍機關中將湯地定監の記念碑あり

## 乃木夫人誕生地

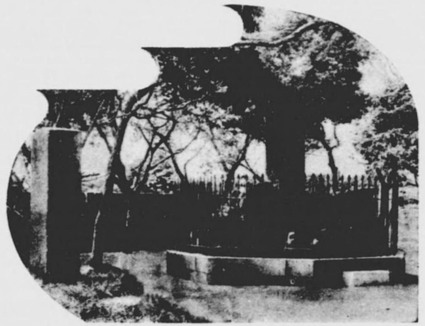


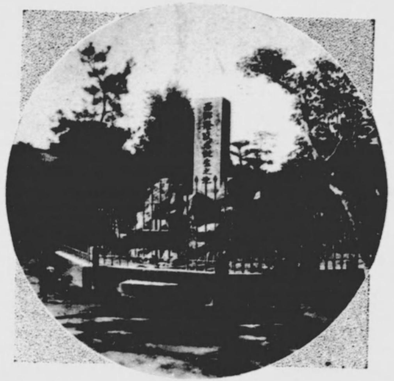
## 南洲翁記念館

南洲神社の境内にあり南洲翁を始め舊鹿兒島藩出身諸名士の遺物文書筆蹟等參考資料多數を蒐集陳列し一般の觀覽に供す

甲突川畔加治屋町にあり南洲翁誕生地を去ること僅かに一町周圍に石垣を廻らし中に當地產河頭石の堅緻なる碑を建つ碑文は重野安繹の撰なり

## 甲東先生誕生地



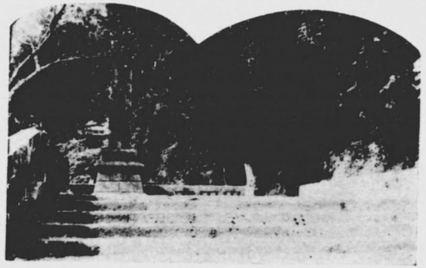


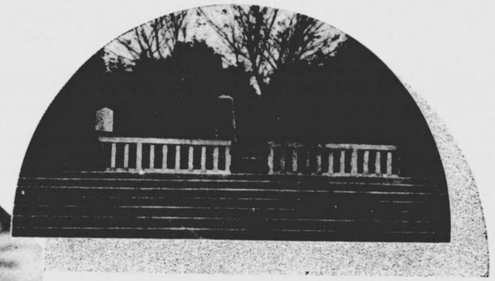
## 南洲先生誕生地

甲突川畔加治屋町にあり同じく碑を建て記念とす附近一帶は大久保利通西郷從道、大山巖村田新八、東郷元帥、黒木大將等名士輩出の地なり

城山の北麓岩崎谷にあり翁は明治十年九月一日薩軍に擁せられ故郷に歸り部下將士と孤壘を守る翁は常に此の洞窟に起臥し胸中戰塵をとゞめざりし觀ありしと云ふ

## 南洲翁洞窟



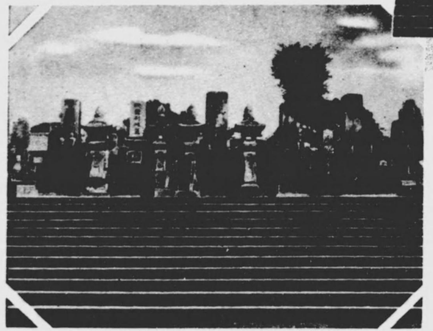


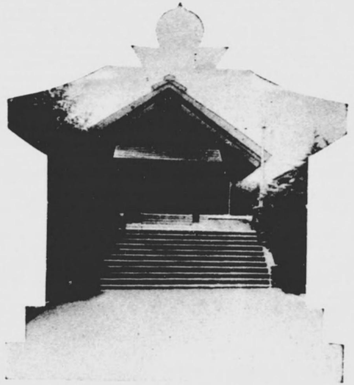
## 南洲翁終焉の地

明治十年九月二十四日南洲翁絶命の所岩崎谷の入口にあり碑を建てゝ記念す

南洲神社境内にありて南洲翁の大墓碑を中央に桐野、村田、篠原、大山、桂、邊見等十年役に戰死したる將卒の墓碑あり

## 南洲先生墓





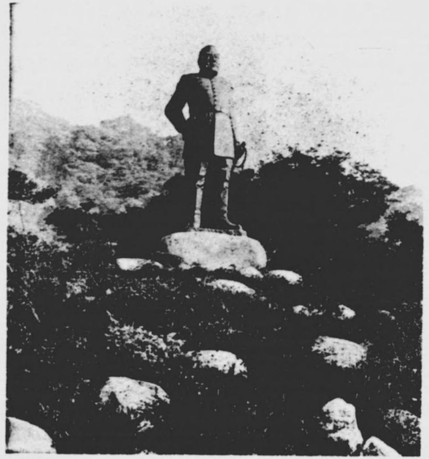
## 南洲神社（淨光明寺跡）

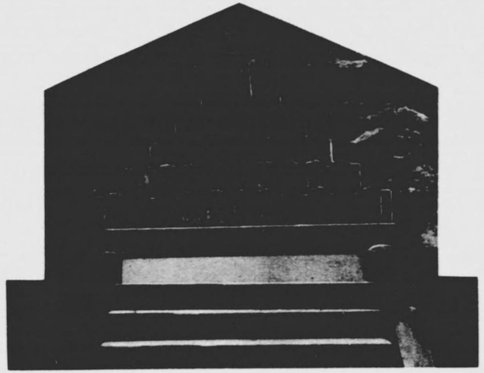
鹿兒島驛を去る事北西約八町贈正三位西郷南洲先生を祀る

無格社にして春秋二期大祭を執行す

西郷南洲翁銅像は市公會堂前山下町にあり城山を背景とし自然石の上に立てる翁の雄姿は剛毅至誠其のものにして之を仰ぐもの大西郷先生の偉大に打たれざるものなく人をして自ら頭を垂れしむ

## 西郷南洲翁銅像





## 薩摩義士碑

寶暦年間木曾川治水工事に關する責任を負ひ割腹したる平田靭負氏以下の弔魂碑にして第七高等學校と縣立病院の中間城山公園の入口にあり

城山は本市中央部にありて往時十年戰役の史蹟として有名なるのみならず全山樟の老樹大木鬱蒼として茂り「バリバリノ木」「パクチノ木」「シヨウベンノキ」「キンモクセイ」及暖帶性羊齒類等植物學上研究に値する名木珍樹多き天然の森林公園を成す

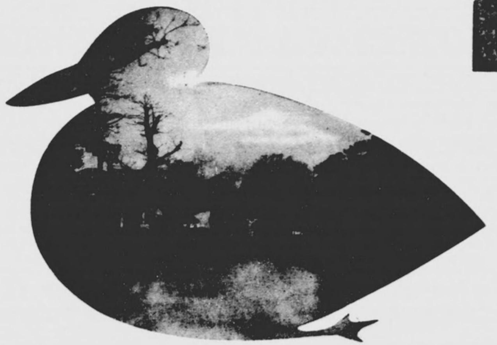
## 城山公園

## 城山頂上休憩所

城山公園は又景勝の地位を占め頂上に登れば鹿兒島の全街眼下に展開され錦江灣を圍む薩隅の諸峯濃淡相連り櫻岳呼べば答へんとす眺望絶佳眞に世塵を拂ふに足る頂上の休憩所には今上皇后兩陛下の臨幸を始め奉り各宮殿下御登臨の記念御手植樹あり

鹿兒島驛より鴨池谷山行電車に據れば約二十分にして達す園内には動物園、植物園、庭球場、野球場、大食堂、浴場等の設けあり

## 鴨池公園（其一）

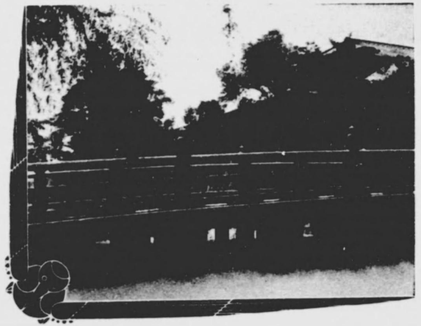


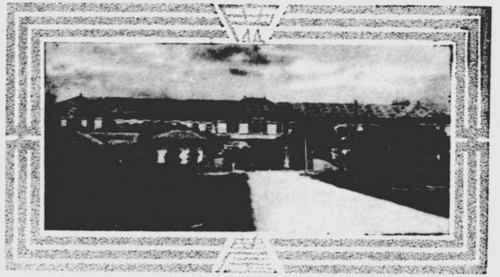
## 鴨池公園（其二）

池には端艇を浮べ海岸は松青く砂白く櫻岳に對し風光明媚にして市民唯一の遊樂地なり

島津氏三百年來の居城鶴丸城の遺跡にして城壁と正面前の擬寶珠欄干の石橋今尚原形を留む庭内に明治五年の行在所記念碑あり

## 第七高等學校造士館

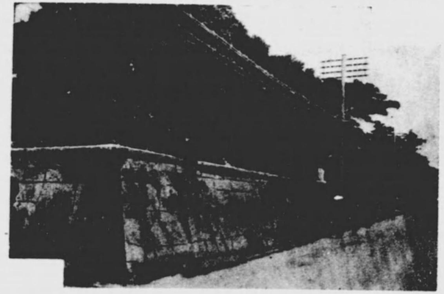




## 鹿兒島高等農林學校

市の南方上荒田町にあり明治四十一年の設立にして學校敷地十余町歩設備完備せり

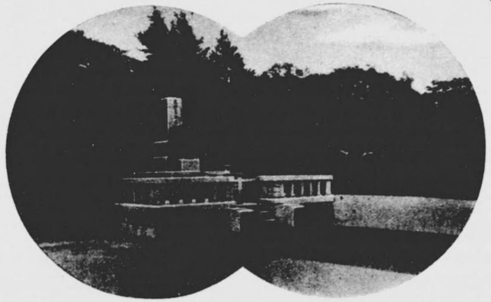
## 私學校跡



縣廳背後にして現今は縣立病院のある所なり西鄕南洲翁三州の青年を集め敎育せられし學校跡にして正面の石垣には十年戰役の彈痕今尙點々として殘存し當時を偲ばしむ

## 城山の圖

鹿兒島驛より北方國道に沿ひ行く事三町餘西戰爭當時の砲臺の跡及明治丁丑の役官軍戰歿者の墓地あり錦江の水を距てゝ櫻島に相對し南方天保山の翠松海上に浮び恰も天の橋立を見るの感あり



## 東鄕元帥墓地

鹿兒島驛の北方約三町多賀山にあり

秀峰櫻島に對し波靜かなる鹿兒島灣を一眸の裡に收む

## 夜の天文館

市の中央に位し活動寫眞館カフエー喫茶店等軒を並べ殷賑を極む本市隨一の歡樂境なり

## 天保山公園

天保年間甲突川の浚渫に際し川砂にて築き上げたる埋立地にして舊藩時代練兵場として使用せられ文久三年薩英戰爭の際奮戰敵艦を懾ましたる砲臺の趾なり甲突川の河口に沿ひ松樹相連り風光絶佳なり

## 鹿兒島縣商工奬勵館

照國神社前大鳥居の東隣にあり縣内物產を網羅陳列し一般の縱覽に供し尙土產品の即賣を爲す

# 目次


沿革及土地

一、沿　革……一
二、位置及地勢……一
三、面　積……二
四、土　地……二
五、公　園……二

人　口

六、世帶及人口……三
七、國勢調査人口……四
八、職業別戸數及人口……四

教　育

九、市内各學校……五
一〇、圖書館……七

社　寺

一一、神社寺院及教會……七

社會事業

一二、社會事業概要……八
一三、市營住宅……八
一四、授産所……八
一五、救護狀況……八

衛　生

一六、上水道……九
一七、廢芥處分……九
一八、傳染病……九

警　察

一九、警察機關……九
二〇、消防及火災……一〇

生産額

二一、生産總額……一〇
二二、生産品目別生産額……一〇
二三、工　場……一一

商業及金融

二四、會　社……一二
二五、中央卸賣市場……一三
二六、公設市場……一三
二七、銀　行……一三
二八、公益質舖……一三
二九、質　屋……一三
三〇、郵便貯金及簡易保險……一三

財　政

三一、昭和十五年度豫算……一三
三二、諸　稅……一三

市制其他

三三、議決機關及執行機關……一四
三四、分課組織……一四
三五、諸官衙及諸學校其他……一五
三六、新聞社……二〇

14.4
1139

# 沿革及土地

一、沿革　鹿兒島市は島津氏七十七萬八百石の舊城下にして文治二年忠久公封ぜられてより二十九代忠義公に至るまで六百八十三年の間治政宜しきを得て王政維新の魁をなすに至れり。明治四年廢藩置縣の制を布かれ等て鹿兒島縣廳の設置あり始め區政を布き戸長役場を設きしが其の後戸長役場郡役所の廢合あり、明治二十二年四月一日始めて市政を實施せられ鹿兒島市役所を山下町に設置す。當時全市五十個町にして戸數一萬三百五十八戸人口五萬九千三十八人なりしが、其の後年々發展し同三十九年鹿兒島港開港に伴ふ埋築地を洲崎町と命名して一町を增設し同四十四年九月鹿兒島郡伊敷村の一部草牟田と西武田村武の一部とを市に編入し之を草牟田町及武町と稱へ大正九年十月伊敷村の一部大字永吉大字下伊敷を編入し尙大正十一年一月より南林寺墓地を整理して大正十三年七月新に南林寺町を增設し大正十四年八月二十日最に編入の大字永吉同下伊敷を永吉町、原良町、工里町と改稱し昭和九年二月十日天保山町を下荒田町の區域より分離新設し同年八月一日中郡宇村、西武田村及吉野村の一部隣接村を編入して之等新編入區域に鴨池町、郡元町、宇宿町、田上町、西別府町、坂元町、吉野町、下田町、川上町及岡之原町の十個町を新設し、全市六十八個町、面積　七六・〇七平方粁、戸數　三六、二〇七、人口　一八四、九〇〇を算するに至れり。

二、位置及地勢　本市は鹿兒島灣に臨める南九州の要衝にして東經百三十度三十三分北緯三十一度三十五分の位置にありて東は鹿兒島灣を隔てゝ大隅の國に對し西は伊敷村、南は谷山町北は吉田村に接す。地勢は複雜にして市の中央市街地、南部鴨池町及郡元町の一部は概ね平坦なれども郡元町の大部、宇宿町、西別府町、坂元町、川上町、岡之原町等の

市の西部及北部區域並に市の北部海岸に沿へる一帶は高台にして山地懸崖砂からず、而して之等山岳地に狹まれる市の北方中央部なる吉野町の廣大なる區域は土地高燥にして丘陵性の高台をなし絶好の農耕地をなす。

本市は古來山紫水明風光の美を以て知られ氣候は温和清朗にして夏時は海風暑を和げ冬時積雪を見ること稀にして絶好の健康地なり、附近幾多の名勝史蹟に富むを以て近時史の國、景の國として世に宣傳せられ内外觀光客の訪れるもの甚だ多し。

**三、面積** 本市は東西一四・八四五粁（三里二八町六間）南北一五・二〇九粁（三里三一町二六間）面積 七六・〇七平方粁（四・九三三方里）にして昭和九年隣接三村合併前の面積一六・七三平方粁に比し四・五倍となれり。

**四、土地** 本市に於ける昭和十四年末公簿上の民有地面積は有租地五、〇九三・二五町、免租地三七六、七九町、免租年期地三一・七六町、計五、八七九・六七町にして官有地は二〇六・一一町なり。

**五、公園** 本市に於ける公園は總計一六個所、總面積 一一三、三二六坪にして其の多くは西鄕南洲翁誕生地、大久保甲東先生誕生地、乃木夫人誕生地等の如く其の面積僅かに數畝乃至一〇〇畝に過ぎざるものなり、今其の主要公園と目せらるゝものを擧ぐれば左の如し。

| | |
|---|---|
| 城山公園 | 四五、七六九坪 |
| 南林寺公園 | 四、〇六三 |
| 祇園の洲公園 | 五、五三〇 |
| 鴨池公園 | 五〇、一三五 |
| 天保山公園 | 一四、〇二四 |

## 人口

**六、世帶及人口** 昭和十四年十月一日現在内閣統計局發表に係る鹿兒島市推計人口は一九三、三〇〇人（男九三、三〇〇人、女一〇〇、〇〇〇人）にして本市推計に依る同日現在の世帶は三七、五三四世帶なり。

本市の人口は全國都市（内地のみ）中第二一位にして九州都市中にては第六位を示す。今日本内地中人口十五萬人以上の都市を擧ぐれば次の如し。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 東京市 | 六、五八一、一〇〇人 | 靜岡市 | 二二〇、四〇〇人 |
| 大阪市 | 三、三九四、二〇〇人 | 佐世保市 | 二一九、一〇〇人 |
| 名古屋市 | 一、二四九、一〇〇人 | 横須賀市 | 二一七、四〇〇人 |
| 京都市 | 一、一七七、二〇〇人 | 札幌市 | 二一三、四〇〇人 |
| 神戸市 | 一、〇〇六、一〇〇人 | 熊本市 | 二〇九、二〇〇人 |
| 横濱市 | 八六六、二〇〇人 | 和歌山市 | 一九四、三〇〇人 |
| 廣島市 | 三四〇、一〇〇人 | 鹿兒島市 | 一九三、三〇〇人 |
| 福岡市 | 三二二、〇〇〇人 | 金澤市 | 一九二、六〇〇人 |
| 呉市 | 二六二、三〇〇人 | 下關市 | 一八二、〇〇〇人 |
| 八幡市 | 二四三、五〇〇人 | 岡山市 | 一七九、三〇〇人 |
| 仙臺市 | 二三七、四〇〇人 | 堺市 | 一七九、一〇〇人 |
| 長崎市 | 二三〇、八〇〇人 | 濱松市 | 一七五、七〇〇人 |
| 函館市 | 二三六、五〇〇人 | 小樽市 | 一六〇、一〇〇人 |
| 川崎市 | 二二四、三〇〇人 | | |

**七、國勢調査人口** 昭和十年十月一日施行の國勢調査の結果に據る本市の世帶及人口は三五、六四七世帶、一八一、七三六人にして昭和五年國

勢調査當時の三二、八四六世帶、一六六、三七〇人に比し二、八〇一世帶一五、三六六人の增加なり。

今版圖の人口其の他の狀況を示せば次の如し。

| 地域別 | 昭和十年 世帶 | 昭和十年 人口 | 昭和五年 總人口 | 人口增加割合 |
|---|---|---|---|---|
| 帝國 | 一八、七六一、四七三 | 九七、六九七、五五五 | 九〇、三九六、〇四三 | 八、〇八% |
| 內地 | 一三、四九九、四八三 | 六九、二五四、一四八 | 六四、四五〇、〇〇五 | 七、四五 |
| 朝鮮 | 四、二九七、八〇三 | 二三、八九九、〇三八 | 二一、〇五八、三〇五 | 八、七四 |
| 臺灣 | 八九八、六四五 | 五、二一二、四二六 | 四、五九二、五三七 | 一三、五〇 |
| 樺太 | 六五、五四二 | 三三一、九四三 | 二九五、一九六 | 一三、四五 |
| 鹿兒島市 | 三五、六四七 | 一八一、七三六 | 一六六、三七〇 | 九、二四 |

八、職業別戶數及人口　昭和十四年末現在本市總戶數三七、五三四中最も多きは商業九、四六八戶（二五・三%）にして工業の七、七二七戶（二〇・六%）之に亞ぐ。公務自由業は六、一六四戶（一六・四%）農業二、八一七戶（七・五%）無職業四、二四七戶（一一・三%）其の他の有業者三、七五五戶（一〇・〇%）交通業三、一九三戶（八・五%）なり、而して水產業、鑛業、家事使用人の合計戶數は僅かに一六三戶（〇・四%）に過ぎず、尙之等職業別從業員は次の如し。

| 職業別 | 戶數 | 從業者數 總數 | 從業者數 男 | 從業者數 女 |
|---|---|---|---|---|
| 總數 | 三七、五三四 | 六七、一七四 | 四四、八七八 | 二二、二九六 |
| ①農業 | 二、八一七 | 五、六五四 | 二、二五四 | 三、四〇〇 |
| ②水產業 | 一三五 | 三一二 | 二五四 | 五八 |
| ③鑛業 | 一八 | 二五 | 二三 | 二 |
| ④工業 | 七、七二七 | 一七、五六一 | 一二、三六〇 | 五、二〇一 |
| ⑤商業 | 九、四六八 | 二二、三五三 | 一三、〇五四 | 九、二九九 |
| ⑥交通業 | 三、一九三 | 三、九六九 | 三、五四九 | 四二〇 |
| ⑦公務自由業 | 六、一六四 | 七、九〇五 | 六、七〇八 | 一、一九七 |
| ⑧其他の有業者 | 三、七五五 | 五、一七〇 | 四、一〇六 | 一、〇六四 |
| ⑨家事使用人 | 一〇 | 一五 | 一〇 | 五 |
| ⑩無職業 | 四、二四七 | 四、二二〇 | 二、五六〇 | 一、六五〇 |

## 教育

九、市內各學校　本市に於ける昭和十五年三月一日現在諸學校は第七高等學校造士館外高等專門學校二校、師範學校二校、中學校四校、高等女學校六校、盲啞學校一校、實業學校一二校、各種學校一四校にして次表の如し。

| 學校別 | 數 | 生徒數 | 學校名 |
|---|---|---|---|
| 高等專門學校 | 三 | 一、四八四 | 第七高等學校造士館。鹿兒島高等農林學校。鹿兒島高等商業學校。 |
| 師範學校 | 二 | 男 六三六<br>女 三八二 | 鹿兒島縣師範學校。<br>仝　女子師範學校。 |
| 中學校 | 四 | 三、五一三 | 鹿兒島縣立第一及第二鹿兒島中學校。鹿兒島中學校。鹿兒島市立中學校。 |
| 高等女學校 | 六 | 三、七〇七 | 鹿兒島縣立第一及第二高等女學校。鹿兒島高等女學校。市立鶴嶺高等女學校。聖名高等女學校。鹿兒島市立高等女學校。 |
| 盲啞學校 | 一 | 男 一三二<br>女 四八 | 鹿兒島縣立盲啞學校。 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 實業學校 | 三 | 男 | 四、一六 |
| | | 女 | 二、七二 |
| 各種學校 | 一四 | 男 | 八一九 |
| | | 女 | 一、四八三 |
| 青年學校 | 二 | 男 | 四、三四九 |
| | | 女 | 二、三七一 |
| 小學校 | 三 | 男 | 一三、一三九 |
| | | 女 | 一二、一三〇 |
| 幼稚園 | 一六 | 男 | 八〇三 |
| | | 女 | 六八八 |

鹿兒島縣立商船學校。公工業學校。鹿兒島商業學校。天保山商工學校。鹿兒島實業學校。三州商業學校。鹿兒島實科中等學校。鹿兒島女子興業學校。鹿兒島高等實修女學校。鹿兒島女子實踐商業學校。鹿兒島女子商業學校。鹿兒島高等家政女學校。

鹿兒島鐵道學校。鹿兒島鍼灸學校。鶴嶺鍼灸學校。鹿兒島高等實業學校。鹿西高等簿記學校。鹿兒島高等簿記學校。鹿兒島法學院。鹿兒島高等拓植學校。鹿兒島綜合中等學校。鶴嶺女學校。鹿兒島和洋裁縫女學校。鹿兒島高等實踐女學校。鹿兒島產婆看護婦學校。精華女子美容學校。

鹿兒島青年學校。荒田青年學校。松原青年學校。西田青年學校。天保山商工青年學校。紫原農藝青年學校。吉野園藝青年學校。私立青年甲南實踐女學校。私立薩摩製絲青年學校。私立山形屋青年學校。私立吉見青年學校。

清水尋常小學校。（以下尋常小學校を略す）山下。松原。八幡。洲崎。武。草牟田。中郡。鹿兒島尋常高等小學校。（以下尋常高等小學校を略す）荒田。中洲。大龍。西田。宇宿。田上。吉野。川上。龍水。天保山高等小學校。鹿兒島師範學校附屬小學校。鹿兒島縣女子師範學校附屬小學校。

師範學校附屬幼稚園。（以下幼稚園を略す）會文會。集成學會。錦城學會。敎愛。共研會。鶴尾學會。研明會。鹿兒島。和光。大谷。共立學會。アツカ。武。甲南。敎道。

## 一〇、圖書館　本市には縣立圖書館一あり、昭和十四年末備付書籍一六四、四七一冊にして今年中の閲覽人員は一三二、七五四人、一日平均四〇二人なり。開館日數は三三〇日なり。

## 社寺

**一一、神社寺號及敎會**　昭和十四年末現在市内の神社は別格官幣社照國神社、縣社松原神社、鹿兒島神社、鶴嶺神社及護國神社の外鄉社八、村社一三、無格社一二、計三八社にして寺院は本派本願寺鹿兒島別院外一〇、基督敎會はメソヂスト敎會外一〇あり、今神社の所在地を示せば次の如し。

| 神社名 | 所在地 | 社格 | 神社名 | 所在地 | 社格 |
|---|---|---|---|---|---|
| 照國神社 | 山下町 | 別格官幣社 | 八幡神社 | 下荒田町 | 村社 |
| 松原神社 | 南林寺町 | 縣社 | 日枝神社 | 常盤町 | 仝 |
| 鹿兒島神社 | 草牟田町 | 仝 | 船魂神社 | 新屋敷町 | 仝 |
| 鶴嶺神社 | 吉野町 | 仝 | 建部神社 | 武町 | 仝 |
| 護國神社 | 山下町 | 仝 | 郡元神社 | 郡元町 | 仝 |
| 多賀神社 | 清水町 | 鄉社 | 日枝神社 | 鴨池町 | 仝 |
| 八坂神社 | 仝 | | 天御中主神社 | 宇宿町 | 仝 |
| 南方神社 | 仝 | | 八幡神社 | 田上町 | 仝 |
| 春日神社 | 春日町 | 仝 | 諏訪神社 | 西別府町 | 仝 |
| 若宮神社 | 池之上町 | 仝 | 菅原神社 | 吉野町 | 仝 |
| 長田神社 | 長田町 | 仝 | 白山姫神社 | 仝 | 仝 |
| 稻荷神社 | 稻荷町 | 仝 | 日枝神社 | 坂元町 | 仝 |
| 平松神社 | 吉野町 | 仝 | 南洲神社 | 上龍尾町 | 無格社 |
| 鹽竈神社 | 塩屋町 | 村社 | 大物主神社 | 清水町 | 仝 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 日枝神社 | 原良町無格社 | 原五社神社 | 吉野町無格社 | | |
| 吉浦神社 | 田上町〃 | 實方神社 | 〃 | | |
| 七社神社 | 吉野町〃 | 菖蒲神社 | 〃 | | |
| 三船神社 | 〃 | 日枝神社 | 川上町〃 | | |
| 鎮守神社 | 〃 | 小鷹神社 | 下田町〃 | | |

## 社會事業

**一二、社會事業概要**　本市は社會政策的施設として物價調節並に確實なる日用品の提供を目的としたる公設市場、住宅難緩和の爲の小住宅、庶民金融機關として公益質舖、軍人遺家族援護の爲授産所、乳幼兒預託施設として保育所等を經營するの外濟生會鹿兒島診療所、鹿兒島市社會事業協會經營の實費診療所、縣市醫師會、私設各種事業團體及方面委員等と連絡協力し經濟保護、醫療保護及生業保護等に努力す。

**一三、市營住宅**　本市々營住宅は草牟田町、藥師町、西田町、上荒田町及南林寺町の五個所にありて昭和十四年末現在總戸數一三〇戸にして內二九戸は店舖付商店向きにし他は一ヶ月家賃五圓四十錢乃至十五圓の小住宅なり。

**一四、授產所**　本市軍人遺家族授產所は下荒田町社團法人鹿兒島縣授產社構內にあり昭和十三年三月一日の創立なり。昭和十四年度迄の入所者二五四名。

昭和十四年度中の工賃扶助並に奬勵金合計一、八五五圓三二錢一ヶ月一人當り收入最高三一圓七七錢平均一〇圓三〇錢。

**一五、救護狀況**　本市に於て昭和十四年中生活扶助をなしたるものは七三七世帶、延人員二五一、七三六人金額一八、一一九圓、醫療救護をなしたるものは一二〇世帶、延人員一三、二九二人金額四、九六五圓にして助產は二世帶延人員四二人金額一二圓なり、埋葬は二六世帶延人員二六人金額二〇四圓なり。

## 衞生

**一六、上水道**　本市の上水は水質良好なり。水源地は市內吉野町、下田町、冷水町、伊敷村明ヶ迫、配水池は市內坂元町、稻荷町（山下町）にありて淨水を其儘配水池に送水し市內に給水す。昭和十四年末給水戸數一九、六五六戸にして一日平均給水量九、〇七二立方米なり。

**一七、塵芥處分**　昭和十三年中の市內塵芥搬出量は五、一三九、七八五貫にして一日平均一四、〇八一貫なり、而して塵芥の處分は其の四六・九%を燒却し五三・一%は埋立をなす。

**一八、傳染病**　本市に於ける傳染病發生數は昭和十四年一九七にして內死亡四二人なり。

## 警察

**一九、警察機關**　鹿兒島警察署は市の中央部泉町にあり、昭和十四年末現在市內派出所二四ありて警視一人、警部二人、警部補八人、技手二人、巡査二〇四人、計二一七人の職員を有す、警官一人に對する本市の管轄及人口の割合を見るに一七三世帶八九一人にして昭和十四年中檢擧に遇ひし家は一、三四九戸（內船一七）あり、其の見積財產額は二四、二二四圓なり。

二〇、消防及火災　昭和十四年末現在本市の消防設備はハンドポンプ五台、自動車ポンプ六台、蒸氣ポンプ二台、水管自動車一台、水管車三七台ありて消防人員一、一二三人にして內常備消防手二五人あり、昭和十四年の火災度數は二八回なり。消失戶數は六四戶にして其の見積損害額は三三五、四八〇圓なり。

## 生産額

二一、生産總額　本市昭和十四年中の生産總額は三六、三八六、七一二圓にして內工産物最も多く三四、三九七、九九六圓にして總額の九四・五%を占む、飼農産物、畜産物、其の他の産額を示せば次の如し。

| 生産物總額 | 三六、三八六、七一二圓 | |
|---|---|---|
| 內工産物 | 三四、三九七、九九六 | （九四・五%） |
| 農産物 | 一、〇八八、一一七 | （三・〇%） |
| 畜産物 | 五〇三、七二七 | （一・四%） |
| 林産物 | 三三九、三六七 | （〇・九%） |
| 水産物 | 五七、五〇五 | （〇・二%） |

二二、生産品目別生産額　生産額を生産品目別に觀るに纖物類の四、八八四、八九四圓最も多く、製材四、七八五、二五七圓、蠶糸類三、一〇三、三四三圓、菓子類の二、九三四、〇二七圓、燃糸の二、三四三、七九四圓の順なり、其の主なるものに付列記すれば次の如し。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 纖物類 | 四、八八四、八九四圓 | 燃糸 | 二、三四三、七九四圓 |
| 製材 | 四、七八五、二五七 | 機器類 | 二、三二一、七二五 |
| 蠶糸類 | 三、一〇三、三四三 | 製綿 | 九四八、三五〇 |
| 菓子 | 二、九三四、〇二七 | 木製品 | 九〇三、六八四 |



| 資物 | 七二四、六六八 | 其他ノ肥料 | 五九六、四二〇 |
|---|---|---|---|
| 肥骨粉 | 六九七、八六〇 | 植物油 | 五五七、一五二 |
| 玄米 | 六九九、〇〇二 | 春粉 | 五四四、一二五 |
| 麵類 | 六五八、二二二 | | |

二三、工場　昭和十四年末現在市內工場數（官營工場を除く）は二、一三九にして職工總數一一、〇〇二人なり、之等工場の事業別、生産額、職工數を示せば次の如し。

| 事業別 | 工場數 | 生産額 | 職工數 總數 | 男 | 女 |
|---|---|---|---|---|---|
| 總數 | 二、一三九 | 三〇、三三三、九六六円 | 一一、〇〇二人 | 六、〇八六人 | 四、九一六人 |
| 紡織工業 | 六三八 | 一〇、八二一、三五五 | 四、一九二 | 八九四 | 三、二九八 |
| 金屬工業 | 一〇六 | 四六八、二六六 | 二八三 | 二六七 | 一六 |
| 機械器具工業 | 一八七 | 二、一〇三、八三八 | 一、四七五 | 一、三九九 | 八六 |
| 窯業 | 六六 | 二九八、一〇五 | 二一〇 | 一八九 | 二一 |
| 化學工業 | 九 | 一、四九八、六四七 | 四三一 | 二九一 | 一四一 |
| 製材及木製品工業 | 三七三 | 六、二〇八、一五五 | 一、三五七 | 一、三一五 | 四二 |
| 印刷及製本業 | 六一 | 一、三八四、八四六 | 六八八 | 四三八 | 一七〇 |
| 食料品工業 | 二九〇 | 六、七二一、三五五 | 一、四六一 | 七六六 | 七三五 |
| 瓦斯及電氣業 | 一 | 三三一、七二五 | 九 | 七六 | 一七 |
| 其他の工業 | 三九九 | 八八六、二三四 | 一七五五 | 一、〇五八 | 二〇七 |

## 商業及金融

二四、會社　昭和十四年末現在市內の會社數は三〇八にして其の資本金及出資額は次の如し。

昭和十四年末市内會社

| 數 | 資本金 | 出資額 |
|---|---|---|
| 總數 三〇八 | 二六、三五七、七〇〇円 | 八、三七、七六六円 |
| 株式會社 一〇二 | 二六、三五七、七〇〇 | — |
| 合資會社 一、二 | — | 二、八七四、一〇〇 |
| 合名會社 九六 | — | 五、四八三、六六六 |

二五、中央卸賣市場　本市中央卸賣市場は昭和十年十一月三日の開場にして新鮮なる魚類、蔬菜類の公正圓滑なる配給を目的とせるものにして昭和十四年中の取引金額は魚類（谷山分場を含む）三、八二三、三五八圓（一日平均一〇、八九三圓）蔬菜及果物類二、二二三、七〇八圓（一日平均六、三三五圓）鳥卵五、五五二圓（一日平均一九圓）なり。

二六、公設市場　市設公設市場の昭和十四年中の賣上金額は一七三、一二二圓にして指定店舗數は三四なり。

二七、銀行　昭和十四年末現在市内銀行は本店五、支店四にして市内に本店を有する五銀行の資本金總額は一二、三〇〇、〇〇〇圓に達す。

二八、公益質舖　昭和十四年度中の市設公益質舖の貸出高は一二九、〇一六圓、受戻高一一四、九三九圓、流質高三、六四八圓にして一口平均貸出金額四・七三圓なり、而して利用者につき觀るに總數一六、六五六人中最も多きは勞働者六、二五六人（三七・六％）にして小商人四、六一九人（二七・七％）俸給生活者二、三五一人（一四・一％）小工業者一、〇二七人（六・二％）漁業者三四人（〇・二％）其他二、三一八人（一三・九％）の割合なり。

二九、質屋　昭和十四年末市内私設質屋は總數一七にして昭和十四年中の貸出金額七二二、九二九圓、受戻金額六三三、三四一圓、流質高五二、〇七八圓、繰收　三四七圓にして一日平均貸出金額は二、〇六六圓なり。

三〇、郵便貯金及郵便爲替　昭和十四年中の郵便貯金は預入口數二九六、八九五、全金額一、九八九、八五九圓、拂渡口數三一、九四四、全金額一、六〇〇、二九一圓にして郵便爲替は振出口數五一、七五九、全金額二、一二二、六五四圓、拂渡口數一一四、九八三、全金額四、六九〇、〇九九圓なり。

## 財政

三一、昭和十五年度鹿兒島市昭和十五年度豫算總額は三、一三〇、五八〇圓にして歳入の主なるものは市稅一、二八八、四五九圓（四一・二％）使用料及手數料六五八、六五七圓（二一・〇％）市債一〇三、二〇〇圓（三・三％）にして、歳出にありては教育費の九五四、三〇九圓（三〇・五％）公債費四八〇、〇七〇圓（一五・三％）役所費三八〇、〇四四圓（一二・一％）土木費二〇六、五九一圓（六・六％）衛生費四四五、三六四圓（一四・三％）水道費九三、〇六一圓（三・〇％）勸業費一〇一、二七四圓（三・二％）其他四六九、八六七圓（一五・〇％）なり。

三二、諸稅　昭和十四年度鹿兒島市國稅調定額は六八九、九六六圓、縣稅一、三四〇、三九一圓、市稅一、三〇六、三四七圓、總計三、三三六、七〇四圓にして一世帶當八八・九〇圓、一人當一七・二六圓の割合なり。

# 市政

**三三、議決機關及執行機關**　本市の市會議員定數は四〇名なり、昭和十四年末現在市職員は市長一名、助役一名、收入役一名、主事六名、視學一名、技師六名、市醫一名、書記八七名、書記補八二名、技手二八名、技手補九名、雇六五名、其他二八名、總計三一六名なり。

今歷代市長の就退任月日を示せば次の如し。

| 順位 | 就任年月日 | 退職年月日 | 氏名 |
|---|---|---|---|
| 一代 | 明治三一、五、三一 | 明治二四、三、 | 上村行敏 |
| 二代 | 〃二四、四、一三 | 〃四〇、三、三〇 | 上村慶吉 |
| 三代 | 〃四〇、八、一六 | 大正二、一一、二三 | 有川貞壽 |
| 四代 | 大正二、四、一四 | 〃三、四、三〇 | 兒玉利實 |
| 五代 | 〃三、七、二一 | 〃二、八、一五 | 山本德次郎 |
| 六代 | 〃三、四、一七 | 〃一四、二、三 | 伊集院俊 |
| 七代 | 〃一四、五、二三 | 〃一五、九、二三 | 上野篤 |
| 八代 | 〃一五、一〇、三〇 | 昭和三、一、二四 | 白男川讓介 |
| 九代 | 昭和四、六、一七 | 〃七、一〇、二七 | 樽山可也 |
| 一〇代 | 〃八、六、一三 | 〃二、一、二七 | 岩元禧 |
| 一一代 | 〃二、七、三 | 〃二五、七、一一 | 伊地知四郎 |
| 一二代 | 〃二五、七、一九 | （現市長） | 久米成夫 |

**三四、分課組織**　本市の分課組織は左の一三課、四六係なり（昭和十四年末現在）

一、庶務課　庶務係、職事係、文書係、統計係、公會堂係。

一、戶籍兵事課　戶籍係、兵事係、防空係。

一、學務課　學務係、社會敎育係、史蹟名勝係。

一、商工課　商工水產係、度量衡係、意匠係、中央卸賣市場係。

一、農林課　事務係、農林係、畜產係、園藝係。

一、觀光課　企畫宣傳係、公園係、接遇係、鄕土記念館係。

一、社會課　福利係、保護係、公設市場係。

一、衛生課　衛生係、淸掃係、墓地係。

一、稅務課　課稅係、徵稅係、徵收係。

一、土木課　事務係、土木係、營繕係、土地係。

一、水道課　事務係、工務係。

一、會計課　會計係、用度係。

一、交通課　總務係、工務係、運轉係、遊園地係。

前項の外市長直屬の秘書係並に監査係あり。

**三五、諸官衙及諸學校其他**　昭和十四年四月一日現在市內諸官衙及諸學校を列記すれば左の如し。

| 名稱 | 位置 |
|---|---|
| 鹿兒島市廳 | 山下町 |
| 鹿兒島市公會堂 | 仝 |
| 鹿兒島地方裁判所 | 仝 |
| 鹿兒島區裁判所 | 仝 |
| 鹿兒島地方裁判所檢事局 | 仝 |
| 鹿兒島區裁判所檢事局 | 仝 |
| 鹿兒島刑務所 | 永吉町 |
| 鹿兒島警察署 | 泉町 |
| 鹿兒島憲兵分隊 | 仝 |

| | |
|---|---|
| 日本赤十字社鹿兒島支部 | 山下町 |
| 日本愛國婦人會鹿兒島支部 | 仝 |
| 日本武德會鹿兒島支部 | 仝 |
| 鹿兒島縣立圖書館 | 仝 |
| 鹿兒島縣商工奬勵館 | 仝 |
| 仝 度量衡檢定所 | 仝 |
| 仝 蠶業取締所 | 仝 |
| 仝 水產試驗所 | 仝 |
| 仝 衛生試驗所 | 仝 |
| 仝 工業試驗所 | 原良町 |
| 仝 農事試驗場 | 鴨池町 |
| 鹿兒島縣巡査教習所 | 山下町 |
| 鹿兒島水上巡査派出所 | 住吉町 |
| 鹿兒島縣立病院 | 山下町 |
| 鹿兒島縣穀物移出檢查所 | 住吉町 |
| 鹿兒島港務所 | 沙見町 |
| 鹿兒島警察署 | 泰日町 |
| 南洲翁記念館 | 上龍尾町 |
| 尙古集成館 | 吉野町 |
| 明治天皇臨幸記念館 | 仝 |
| 濟生會鹿兒島診療所 | 南林寺町 |
| 第一鹿兒島診療所 | 仝 |
| 第二鹿兒島診療所 | 榮町 |
| 鹿兒島市職業紹介所 | 山下町 |
| 仝 勞働紹介所 | 南林寺町 |
| 仝 中央卸賣市場 | 洲崎町 |
| 仝 公設市場 | 六日町 |
| 仝 公益質舖 | 南林寺町 |



| | |
|---|---|
| 鹿兒島地方專賣局 | 榮町 |
| 仝 西鹿兒島分工場 | 上荒田町 |
| 鹿兒島稅關支署 | 沙見町 |
| 鹿兒島稅務署 | 易居町 |
| 鹿兒島檢疫所 | 生產町 |
| 鹿兒島驛 | 演武町 |
| 西鹿兒島驛 | 長田町 |
| 鹿兒島商工會議所 | 繁町 |
| 鹿兒島縣敎育會館 | 山下町 |
| 熊本遞信局工務課鹿兒島出張所 | 南林寺町 |
| 簡易保險鹿兒島健康相談所 | 西千石町 |
| 鹿兒島土木出張所 | 長田町 |
| 鹿兒島縣財務出張所 | 山下町 |
| 第七高等學校造士館 | 仝 |
| 鹿兒島高等農林學校 | 上荒田町 |
| 鹿兒島高等商業學校 | 長田町 |
| 鹿兒島縣立第一鹿兒島中學校 | 上之園町 |
| 仝 第二鹿兒島中學校 | 樂師町 |
| 鹿兒島縣師範學校 | 武町 |
| 鹿兒島縣立商船學校 | 下荒田町 |
| 仝 工業學校 | 草牟田町 |
| 仝 盲啞學校 | 仝 |
| 鹿兒島縣女子師範學校 | 山下町 |
| 鹿兒島縣立第一高等女學校 | 加治屋町 |
| 仝 第二高等女學校 | 山下町 |
| 鹿兒島商業學校 | 下荒田町 |
| 天保山商工學校 | 天保山町 |
| 鹿兒島市立女子興業學校 | 上之園町 |

| | |
|---|---|
| 鹿兒島高等實習女學校 | 山下町 |
| 鹿兒島縣師範學校附屬小學校 | 武町 |
| 鹿兒島縣女子師範學校附屬小學校 | 山下町 |
| 草牟田尋常小學校 | 草牟田町 |
| 清水尋常小學校 | 清水町 |
| 山下尋常小學校 | 西千石町 |
| 松原尋常小學校 | 山之口町 |
| 八幡尋常小學校 | 下荒田町 |
| 洲崎尋常小學校 | 捷屋町 |
| 武尋常小學校 | 上荒田町 |
| 中郡尋常小學校 | 郡元町 |
| 中洲尋常高等小學校 | 上之園町 |
| 鹿兒島尋常高等小學校 | 山下町 |
| 荒田尋常高等小學校 | 高麗町 |
| 西田尋常高等小學校 | 藥師町 |
| 大龍尋常高等小學校 | 上龍尾町 |
| 天保山高等小學校 | 天保山町 |
| 宇宿尋常高等小學校 | 宇宿町 |
| 田上尋常高等小學校 | 田上町 |
| 吉野尋常高等小學校 | 吉野町 |
| 川上尋常高等小學校 | 川上町 |
| 龍水尋常高等小學校 | 吉野町 |
| 鹿兒島青年學校 | 山下町 |
| 荒田青年學校 | 高麗町 |
| 西田青年學校 | 藥師町 |
| 松原青年學校 | 山之口町 |
| 紫原農藝青年學校 | 田上町 |
| 吉野園藝青年學校 | 吉野町 |



| | |
|---|---|
| 天保山商工學校 | 天保山町 |
| 私立薩摩製絲青年學校 | 原良町 |
| 私立青年甲南實踐女學校 | 郡元町 |
| 山形屋青年學校 | 長田町 |
| 鹿兒島中學校 | 原良町 |
| 鹿兒島實業學校 | 藥師町 |
| 三州商業學校 | 武町 |
| 鹿兒島鐵道學校 | 上荒田町 |
| 仝 高等實業學校 | 藥師町 |
| 仝 高等豫備學校 | 上荒田町 |
| 仝 高等拓植工科學校 | 郡元町 |
| 仝 法學院 | 山下町 |
| 仝 綜合中等學校 | 高麗町 |
| 仝 實科中等學校 | 仝 |
| 仝 高等簿記學校 | 山下町 |
| 鎭西高等簿記學校 | 武町 |
| 鹿兒島鍼灸學校 | 仝 |
| 鵜嶺鍼灸學校 | 南林寺町 |
| 鵜嶺高等女學校 | 清水町 |
| 鵜嶺女學校 | 仝 |
| 鹿兒島高等女學校 | 藥師町 |
| 仝 高等家政女學校 | 仝 |
| 仝 高等實踐女學校 | 高麗町 |
| 仝 女子實踐商業學校 | 仝 |
| 仝 和洋裁縫女學校 | 藥師町 |
| 仝 女子商業學校 | 仝 |
| 仝 產婆看護婦學校 | 武町 |
| 聖名高等女學校 | 鴨池町 |
| 精華女子美髮學校 | 武町 |

三六、新聞社　本市内には左の新聞社及支局あり。

| 社名 | 所在地 | 創立年月 |
|---|---|---|
| 鹿兒島新聞社 | 山下町 | 明治十五年十一月 |
| 鹿兒島朝日新聞社 | 易居町 | 仝　二二年　七月 |
| 九州日々新聞社 | 仝 | 仝　四二年　九月 |
| 大阪朝日新聞社通信部 | 平之町 | 大正　九年十一月 |
| 大阪毎日新聞社鹿兒島支局 | 中町 | 仝　十一年　九月 |
| 福岡日々新聞社支局 | 山下町 | 仝　十三年十一月 |
| 鹿兒島日々新聞社 | 樋之口町 | 昭和　六年　九月 |

昭和十六年二月十日印刷
昭和十六年二月二十日發行

發行所　鹿兒島市役所

印刷者　大阪市東區南久寶寺町二丁目　栗本小市

印刷所　大阪市東區南久寶寺町二丁目　栗本本店印刷部

14.4
11.30
昭和拾六年六月壹六日

製本控

| 14.4 | 1139 | 年　月　日 |
|---|---|---|

鹿兒島市勢要覽　昭和15年

鹿兒島市役所編　1冊

備考

三六、新聞社　本市内には左の新聞社及支局あり。

| 名　称 | 所在地 | 創立年月 |
|---|---|---|
| 鹿兒島新聞社 | 山下町 | 明治十五年十一月 |
| 鹿兒島朝日新聞社 | 易居町 | 仝　二二年　七月 |
| 九州日々新聞社 | 仝 | 仝　四二年　九月 |
| 大阪朝日新聞社通信部 | 平之町 | 大正　九年十一月 |
| 大阪毎日新聞社鹿兒島支局 | 中　町 | 仝　十一年　九月 |
| 福岡日々新聞社支局 | 山下町 | 仝　十三年十一月 |
| 鹿兒島日々新聞社 | 繩之口町 | 昭和　六年　九月 |

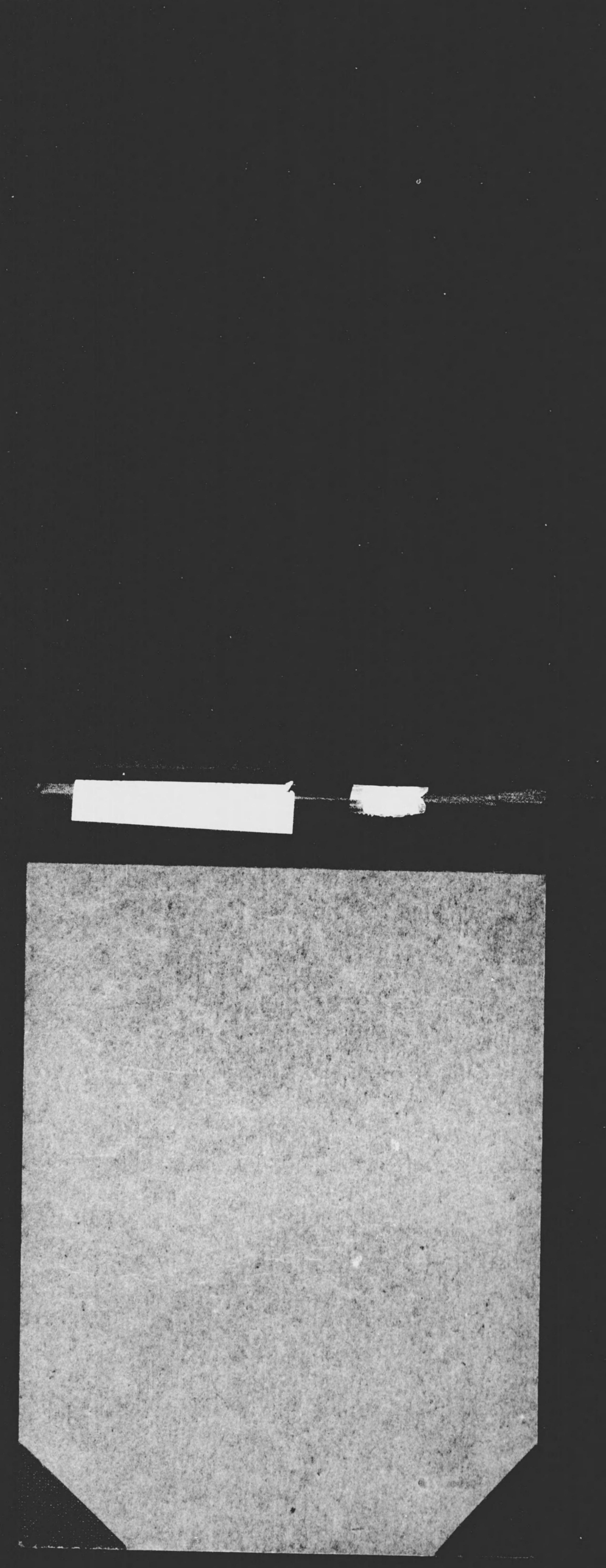
昭和十六年二月十　日印刷
昭和十六年二月二十日發行

發行所　鹿兒島市役所

印刷者　栗本小市　大阪市東區南久寶寺町二丁目

印刷所　栗本本店印刷部　大阪市東區南久寶寺町二丁目

14.4
1139

4.4
139

鹿児島市役所